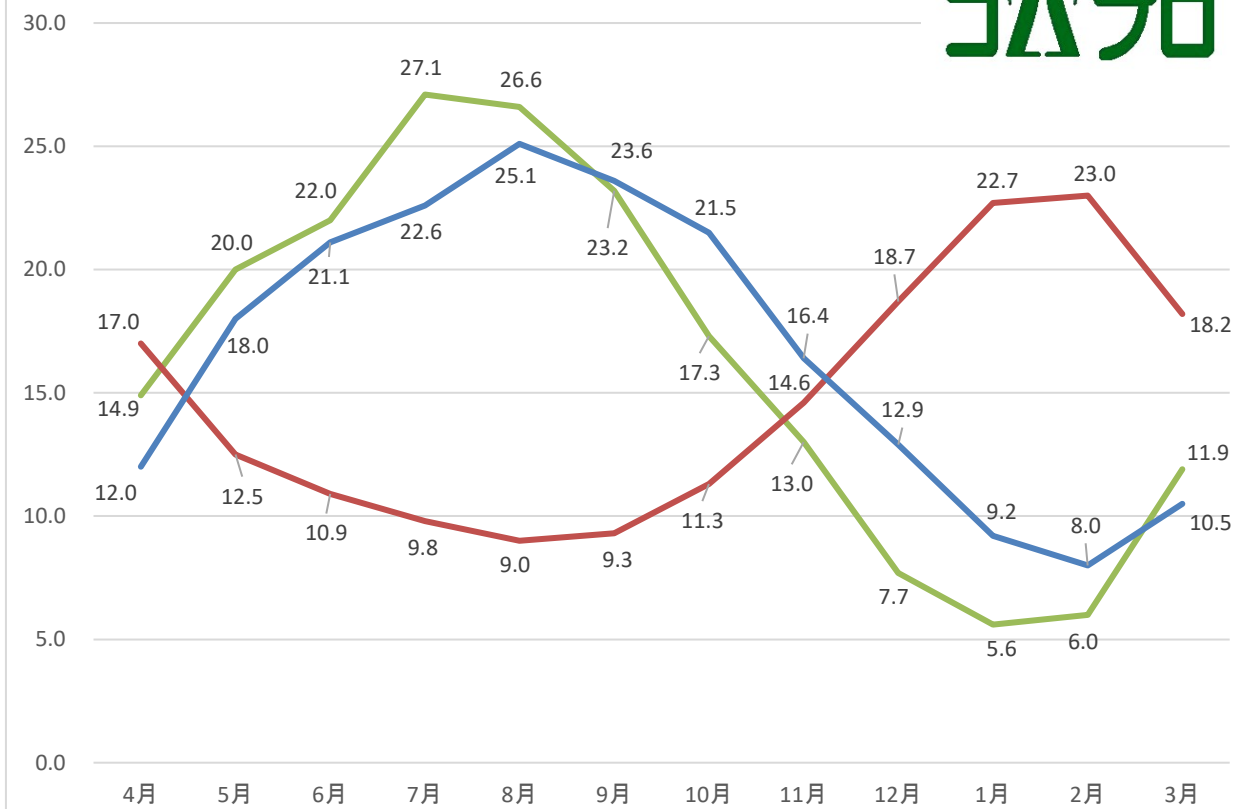


## 水温・気温・ガス使用量の関係 2017年度データ



平均気温 (°C)

気象庁 過去の気象データ 横浜市より

平均水温 (°C)

横浜市水道局水質検査結果 (給水栓) より

ガス平均使用量 (m³)

弊社実績 (全ての戸建て～業務用より)

### 《参考例》

平均気温が低い時期には、水道水の水温も低くなります。

浴槽にお湯をためる際、2月の水温8°Cを40°Cまで上昇させるカロリーと、8月の水温25.1°Cを40°Cまで上昇させるのとは、**2倍近くガスの量が必要**となります。

浴槽200Lの水を40°Cまで温める (熱効率は算入せず)

2月 40°C - 8°C = 32°C上昇させる

200L × 32°C上昇 = 4980Kcal

4980Kcal ÷ 24000 Kcal/m³ = **0.20m³**が必要

8月 40°C - 25.1°C = 14.9°C上昇させる

200L × 14.9°C上昇 = 2980Kcal

2980Kcal ÷ 24000 Kcal/m³ = **0.12m³**が必要